



介護予防教室の様子



日山忠郎議員

## 福祉行政

# 「包括支援センター」の実施計画

## ケアプランに基づき介護予防

**質問** 制度の改正に伴う介護保険事業計画が本年四月からスタートする。介護の必要度が低い高齢者には、予防事業に重点を置くための拠点として、新たに「地域包括支援センター」を設置するとしているが、実施計画は策定されているか。

ための拠点として設置されるもので、総合相談支援、権利擁護などの業務を担う。予防事業については、要支援と要介護一人を対象として、新予防給付対象者を選定するための認定調査後、介護サービス事業所が個々のケアプランに基づき、筋力向上、栄養改善及び口腔機能向上などの介護予防サービスを行っていく。

**質問** 介護が必要にならないように予防を重視することは大切だが、高齢者は加齢により筋力トレーニングなどによっても自立できなくなる人も多々と思うが。

**山本保健福祉課長** 介護の必要な人は今まで通りの介護が受けられる。新予防給付対象者の選定は問診などでチェックして、予防施策を取っていく。

## 教育行政

# 中学卒業生の進路状況と評価

## 生徒の希望や適性に配慮

**質問** 平成十七年度の町内中学校卒業生の進路状況とその評価について問う。

**松尾教育長** 卒業生百九十八人のうち、公立高校百八十七人、私立高校八人、就職二人、未定一人の進路

希望になっている。

各中学校とも生徒の希望や適性に配慮した進路指導がなされたと考えている。また、中高連携教育推進事業を立ち上げようと関係機関に働きかけているうちに、

山田高校への進学希望が増えてきたことは喜ばしいと考えている。

**質問** 豊間根中学校卒業生の山田高校への進学希望者がゼロと聞くが、どうか。

**松尾教育長** 豊間根からは通学のための交通機関の不便さもあるようだ。山田高校としては、校内体制を改善できることは改善していきたいとのことであり、今後も交流を深めることにより、次年度につなげていきたい。



町内中学卒業生198人のうち195人が進学を希望しています（豊間根中学校の卒業式から）

## 町の考えを聞く